

2018年10月25日

第31回東京国際映画祭のバリアフリー体験イベントに オリンパスの単眼式スマートグラス「EyeTrek INSIGHT EI-10」を提供

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、米国で販売中の単眼式スマートグラス「EyeTrek INSIGHT EI-10」を、10月28日に東京・日比谷にて開催される第31回東京国際映画祭のバリアフリー上映の体験イベントに提供します。

東京国際映画祭では2011年より、「映画の未来」と題してバリアフリー上映企画を行ってきました。2018年秋に開催される第31回東京国際映画祭では、NPO法人メディア・アクセス・サポートセンター(MASC)の企画による「メガネ型端末で観る、バリアフリー字幕体験イベント」が行われます。本イベントは、各社のメガネ型端末と「UDCast」※という無料のスマートフォンアプリを連動させ、映画字幕をメガネ型端末に表示させることにより、聴覚に障がいをお持ちのお客さまにも映画・映像の臨場感を提供することを目的としています。

オリンパスは、米国で販売中の単眼式スマートグラス「EyeTrek INSIGHT EI-10」を本イベントに提供します。イベント会場内の展示ブースにて「EyeTrek INSIGHT EI-10」を実際に体験していただけます。

オリンパスは、今後も自社の持つ技術を使って積極的に社会に貢献していきます。



EyeTrek INSIGHT EI-10



装着イメージ



映像と字幕を重ね合わせた
見え方のイメージ

- イベント名称:「映画・映像の未来 - 広がるバリアフリー視聴環境 -」
- 日時: 2018年10月28日(日)
メガネ型端末展示体験イベントは、12:00~18:00
- 会場: 東京ミッドタウン日比谷 6F BASE Q
- 主催: 一般社団法人日本映画製作者連盟、一般社団法人映画産業団体連合会
- 企画協力: NPO法人メディア・アクセス・サポートセンター(MASC)
- イベント告知URL: <http://npo-masc.org/tiff2018/>

※ 映画・映像・放送等の「音声」をスマートフォン等の携帯端末のマイクが拾うことで、その端末を通じて、字幕や手話の表示、音声ガイド再生等を行うことのできるアプリケーション。(開発・運営:Palabra株式会社、技術提供:エヴィクサー株式会社)

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。